

Arcserve UDP 8.0 動作要件

(エフサステクノロジーズ追加要件)

2024年8月23日更新

- 基本的な動作要件は、以下の Arcserve 社サイトを参照ください。

Arcserve Unified Data Protection 8.0 動作要件

<https://support.arcserve.com/s/article/Arcserve-UDP-8-0-Software-Compatibility-Matrix?language=ja>

- エフサステクノロジーズが販売する Arcserve UDP 8.0 製品の動作要件は、Arcserve 社が公開している動作要件に、本ドキュメントの内容が追加されます。
- Windows Server 2022 環境は、パッチモジュール(Arcserve UDP 8.1)の適用でバックアップ保護/バックアップサーバ構築 (UDP コンソール/UDP 復旧ポイントサーバの導入) をサポートします。
 - ・ ReFS ファイルレベルスナップショット/SMB 圧縮が有効の環境はサポートしていません。
 - ・ VMware 用バックアッププロキシにつきましては、Windows Server 2022 環境上に構築することはできません。
 - ・ 「テープへのコピー」機能には対応していません。Arcserve Backup 19 側のマネージャより UDP/RPS 連携バックアップを利用ください。
- Arcserve UDP 8.0 Premium Plus Edition で、Arcserve High Availability 18.0 の機能を提供しています。
- Arcserve UDP 8.0 Premium Edition/ Premium Plus Edition については、下記製品の動作要件もあわせて参照ください。

Arcserve Backup 18.0 for Windows 動作要件

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/partners/partners/arcserve/products/backup/environment/>

Arcserve Replication 18.0 for Windows 動作要件

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/partners/partners/arcserve/products/replication/environment/>

索引

- [適応機種](#)
- [仮想マシンへの導入について](#)
- [クラウドへの対応について](#)
 - ・ [FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 対応](#)
 - ・ [FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O 対応](#)
 - ・ [FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-V 対応](#)
 - ・ [FUJITSU Hybrid IT Service for AWS 対応](#)
- [Arcserve UDP Windows Agent](#)
- [Arcserve UDP Linux Agent](#)
- [UDP コンソール](#)
- [復旧ポイントサーバ](#)
- [エージェントレス バックアップ](#)
- [仮想スタンバイ機能](#)
- [インスタント VM 機能](#)
- [アシュアードリカバリ機能](#)
- [ETERNUS CS800 S6/S7 デデュープアプライアンスの対応について](#)

適応機種

- Arcserve 社の動作要件に記載されたハードウェア要件を満たす、以下の機種をサポートします。
 - ・ PRIMERGY (PRIMECLUSTER 環境は除く)
 - ・ PRIMEQUEST 3000 シリーズ(注) Arcserve UDP 8.0 Premium Edition/Premium Plus Edition のみ対応

- 他社 PC サーバーのサポート条件は、以下をご確認ください。

他社 PC サーバー上への Arcserve 製品の導入について

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/partners/partners/arcserve/services>

- 他社クラウド上のサポート条件は、以下をご確認ください。

他社クラウド上への Arcserve 製品の導入について

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/partners/partners/arcserve/services>

仮想マシンへの導入について

仮想マシン上に製品を導入する場合の留意事項は以下のとおりです。

- VMware ESXi 無償版/無償エディションはサポートしません。
- Nutanix AHV 環境の仮想マシンのエージェントレス バックアップにおいて、Nutanix のボリュームグループの iSCSI 接続を行ったバックアップを行う場合は、Nutanix AHV のライセンスとして「Pro」または、「Ultimate」のライセンスが必要です。
- VMware が提供する機能に関する留意事項は以下のとおりです。
 - ・ VMware vSphere vMotion における切り替え中の動作は保証しません。
 - ・ VMware vSphere High Availability における切り替え中の動作は保証しません。
 - ・ VMware vCenter Site Recovery Manager で本製品を使用する場合、保護サイトと復旧サイトのそれぞれに本製品を導入してください。
- Hyper-V が提供する機能に関する留意事項は以下のとおりです。
 - ・ ライブマイグレーションにおける切り替え中の動作は保証しません。
 - ・ クイックマイグレーションにおける切り替え中の動作は保証しません。
 - ・ フェールオーバーにおける切り替え中の動作は保証しません。

- Linux 仮想マシン機能（KVM）が提供する機能に関する留意事項は以下のとおりです。
 - ・ ライブマイグレーションにおける切り替え中の動作は保証しません。

クラウドへの対応について

- 以下のクラウド環境をサポートします。対応する機能等の詳細は、それぞれのリンク先を参照ください。
 - ・ [FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 対応](#)
 - ・ [FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O 対応](#)
 - ・ [FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-V 対応](#)
 - ・ [FUJITSU Hybrid IT Service for AWS 対応](#)
- クラウド上の仮想マシン上で製品を利用する場合、Arcserve UDP 8.0 が物理環境でサポートしている OS とアプリケーションをサポートします。
- 復旧ポイントサーバに集約したオンサイトのバックアップデータを、クラウド上に作成した復旧ポイントサーバへ遠隔転送する場合は、オンサイト側とクラウド側のそれぞれの復旧ポイントサーバ間で通信が行えるよう、プライベート接続できる環境が必要です。
- 他社クラウドのサポートについては、以下を参照ください。

他社クラウド上への Arcserve 製品の導入について

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/partners/partners/arcserve/services>

FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 対応

【FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン】

FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン上での利用を、以下の条件でサポートします。

- 以下のコンポーネントおよび機能の利用をサポートします。
 - ・ Arcserve UDP Windows Agent
 - ・ Arcserve UDP Linux Agent
 - （注）パスワード認証の環境においてサポート
 - ・ Arcserve UDP コンソール
 - ・ Arcserve UDP 復旧ポイントサーバ

- ・ 仮想スタンバイ
(注) 本機能を利用する場合、クラウド (IaaS) 側に復旧ポイントサーバの機能をインストールした仮想マシン (Windows) が必要です。
- ・ インスタント VM
(注) 詳細については「[インスタント VM 機能](#)」を参照ください。
- 以下の機能は対応していません。
 - ・ ベアメタル リカバリによるシステム復旧
 - ・ テープへのバックアップ
 - ・ エージェントレスバックアップ
 - ・ High Availability

【FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure オブジェクトストレージ】

以下の機能を使用したバックアップデータの二次バックアップ先として、FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure オブジェクトストレージを利用できます。

- 復旧ポイントのコピー (バックアップデータ自身をオブジェクトストレージへ二次バックアップ)
- ファイル コピー (バックアップデータの中から特定のファイルデータを二次バックアップ)
(注) 本機能はユーザーデータのみサポートします。本機能により二次バックアップされたデータからのベアメタル リカバリはできません。

《留意事項》

- オブジェクトストレージの仕様上、二次バックアップには時間を要します。バックアップ対象のデータサイズやファイル数が多い場合には、二次バックアップの周期を開けることを推奨します。

FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O 対応

【FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O 仮想マシン】

FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O 仮想マシン上での利用を、以下の条件でサポートします。

- 以下のコンポーネントの利用をサポートします。
 - ・ Arcserve UDP Windows Agent
 - ・ Arcserve UDP Linux Agent
(注) パスワード認証の環境においてサポート
 - ・ Arcserve UDP コンソール

- ・ Arcserve UDP 復旧ポイントサーバ
- 以下の機能は対応していません。
 - ・ ベアメタル リカバリによるシステム復旧
 - ・ テープへのバックアップ
 - ・ エージェントレスバックアップ
 - ・ 仮想スタンバイ
 - ・ インスタント VM
 - ・ High Availability

【FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O オブジェクトストレージ】

以下の機能を使用したバックアップデータの二次バックアップ先として、FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O オブジェクトストレージを利用できます。

- 復旧ポイントのコピー（バックアップデータそのものをオブジェクトストレージへ二次バックアップ）
- ファイル コピー（バックアップデータの中から特定のファイルデータを二次バックアップ）
（注）本機能はユーザーデータのみ対応します。本機能により二次バックアップされたデータからのベアメタル リカバリはできません。

《留意事項》

- 復旧ポイントのコピー機能に対応するリージョンは以下のとおりです。
 - ・ 東日本リージョン 3（Amazon S3 互換として対応）
 - ・ 西日本リージョン 3（Amazon S3 互換として対応）
- ファイル コピー機能に対応するリージョンは以下のとおりです。
 - ・ 東日本リージョン 1
 - ・ 東日本リージョン 3（Amazon S3 互換として対応）
 - ・ 西日本リージョン 1
 - ・ 西日本リージョン 2
 - ・ 西日本リージョン 3（Amazon S3 互換として対応）
- オブジェクトストレージの仕様上、二次バックアップには時間を要します。バックアップ対象のデータサイズやファイル数が多い場合には、二次バックアップの周期を開けることを推奨します。

FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-V 対応

【FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-V 仮想マシン】

FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-V 仮想マシン上での利用を、以下の条件でサポートします。

- 以下のコンポーネントおよび機能の利用をサポートします。
 - ・ Arcserve UDP Windows Agent
 - ・ Arcserve UDP Linux Agent
(注) パスワード認証の環境においてサポート
 - ・ Arcserve UDP コンソール
 - ・ Arcserve UDP 復旧ポイントサーバ
 - ・ ベアメタル リカバリによるシステム復旧
 - ❖ ベアメタル リカバリによるシステム復旧を行う際は、Arcserve UDP で作成した BMR ISO イメージを復旧対象の仮想マシン上でマウントし、起動する必要があります。詳細は以下の二フクラのサイトを参照ください。
 - ISO イメージ一覧
<https://pfs.nifcloud.com/help/isoimage/list.htm>
 - ISO イメージ : アップロード
<https://pfs.nifcloud.com/help/isoimage/upload.htm>
 - ISO イメージ : 削除
<https://pfs.nifcloud.com/help/isoimage/del.htm>
 - ISO イメージ : サーバーに設定・解除
<https://pfs.nifcloud.com/help/isoimage/server.htm>
 - ❖ 復旧対象の仮想マシンを ISO イメージから起動させるため、仮想マシンの BIOS 設定にて、"BOOT" 設定の最上段を "CD-ROM" に設定する必要があります。
 - ❖ Arcserve UDP は、ISO イメージからの起動後に動作するベアメタル リカバリについてサポートします。
- 以下の機能は対応していません。
 - ・ テープへのバックアップ
 - ・ エージェントレスバックアップ
 - ・ 仮想スタンバイ
 - ・ インスタント VM
 - ・ High Availability

【FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-V オブジェクトストレージ】

以下の機能を使用したバックアップデータの二次バックアップ先として、FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-V オブジェクトストレージを利用できます。

- 復旧ポイントのコピー（バックアップデータそのものをオブジェクトストレージへ二次バックアップ）
- ファイル コピー（バックアップデータの中から特定のファイルデータを二次バックアップ）
（注）本機能はユーザデータのみサポートします。本機能により二次バックアップされたデータからのベアメタル リカバリはできません。

《留意事項》

- オブジェクトストレージの仕様上、二次バックアップには時間を要します。バックアップ対象のデータサイズやファイル数が多い場合には、二次バックアップの周期を開けることを推奨します。

FUJITSU Hybrid IT Service for AWS 対応

【FUJITSU Hybrid IT Service for AWS 仮想マシン】

FUJITSU Hybrid IT Service for AWS 仮想マシン上での利用を、以下の条件でサポートします。

- 以下のコンポーネントおよび機能の利用をサポートします。
 - ・ Arcserve UDP Windows Agent
 - ・ Arcserve UDP Linux Agent
（注）パスワード認証の環境においてサポート
 - ・ Arcserve UDP コンソール
 - ・ Arcserve UDP 復旧ポイントサーバ
 - ・ 仮想スタンバイ
（注）本機能を利用する場合、クラウド（IaaS）側に復旧ポイントサーバの機能をインストールした仮想マシン（Windows）が必要です。
 - ・ インスタント VM
（注）詳細については「[インスタント VM 機能](#)」を参照ください。
- 以下の機能は対応していません。
 - ・ ベアメタル リカバリによるシステム復旧
 - ・ テープへのバックアップ
 - ・ エージェントレスバックアップ
 - ・ High Availability

【FUJITSU Hybrid IT Service for AWS オブジェクトストレージ】

以下の機能を使用したバックアップデータの二次バックアップ先として、FUJITSU Hybrid IT Service for AWS オブジェクトストレージを利用できます。

- 復旧ポイントのコピー（バックアップデータそのものをオブジェクトストレージへ二次バックアップ）
- ファイル コピー（バックアップデータの中から特定のファイルデータを二次バックアップ）
（注）本機能はユーザデータのみサポートします。本機能により二次バックアップされたデータからのペ
アメタル リカバリはできません。

《留意事項》

- オブジェクトストレージの仕様上、二次バックアップには時間を要します。バックアップ対象のデータサイ
ズやファイル数が多い場合には、二次バックアップの周期を開けることを推奨します。

Arcserve UDP Windows Agent

- 以下の環境および機能は対応していません。
 - ・ Windows Server 2008、Windows Server 2008 R2
 - ・ クライアント OS（Windows 7、Windows 8.1、Windows 10）環境
 - ・ Windows Server 2019 クラスターセット環境
 - ・ USB メモリをベアメタル リカバリ用メディアとする運用
- 以下の機能は、復旧ポイントサーバ（RPS）へのバックアップ運用時のみ提供します。
 - ・ 重複排除機能
 - ・ レプリケート
- 物理マシンから仮想マシンへのベアメタル リカバリ（P2V：Physical to Virtual）、インスタント VM、および 仮想スタンバイ機能では、仮想マシン上での OS 起動までを提供します。アプリケーションの起動等その後の OS の動作は保証しません。

Arcserve UDP Linux Agent

- サポートするディストリビューションは、以下のとおりです。
 - ・ RedHat Enterprise Linux
 - ・ SUSE Linux Enterprise Server
(SUSE Linux Enterprise Server for SAP Applications を除く)
- 以下の環境および機能は対応していません。
 - ・ クラスター環境
 - ・ 暗号化されたボリュームのバックアップ
 - ・ RAW デバイス領域のバックアップ
 - ・ 仮想スタンバイ機能
 - ・ リモートディスク（クラウドストレージを含む）へのファイル コピー機能、および ファイル アーカイブ機能
 - ・ 復旧ポイントのコピー機能
 - ・ クラウドが提供するオブジェクトストレージをバックアップ先とした運用
 - ・ Btrfs フォーマットを使用した環境のベアメタル リカバリ
 - ・ Btrfs フォーマットで構成されたマシンによるエージェント バックアップサーバ
 - ・ Arcserve UDP 8.0 を使用した、RedHat Enterprise Linux 8.x 環境のベアメタル リカバリ、インスタント VM、アシュアード リカバリ（Arcserve UDP 8.1 適用環境は除く）

- ・ Docker で構成されたパーティションがある環境
- 以下の機能は、復旧ポイントサーバ（RPS）へのバックアップ運用時のみ提供します。
 - ・ 重複排除機能
 - ・ 継続的な増分バックアップ
 - ・ テープへの二次バックアップ
 - ・ レプリケート

UDP コンソール

- 以下の環境は対応していません。
 - ・ Windows Server 2008 R2
- バックアップサーバ(UDP コンソール/復旧ポイントサーバ)が Windows Server 2022 環境では、「テープへのコピー」機能は対応していません。Arcserve Backup 19 側のマネージャより UDP/RPS 連携バックアップを利用ください。

復旧ポイントサーバ

- 以下の環境は対応していません。
 - ・ Windows Server 2008 R2
- バックアップサーバ(UDP コンソール/復旧ポイントサーバ)が Windows Server 2022 環境では、「テープへのコピー」機能は対応していません。Arcserve Backup 19 側のマネージャより UDP/RPS 連携バックアップを利用ください。
- 復旧ポイントサーバを使用した Linux 環境のバックアップにおいて、以下の機能は提供されません。
 - ・ 仮想スタンバイ
 - ・ ファイルコピー（クラウドオブジェクトストレージを含む）
 - ・ 復旧ポイントのコピー（クラウドオブジェクトストレージを含む）
- 以下の運用を行う場合は、RPS データストアの格納先は、復旧ポイントサーバのローカルディスクとしてください。
 - ・ ネットワークセグメントを指定したバックアップ/リストアを行う場合
 - ・ リバースレプリケーションを使用する場合

エージェントレスバックアップ

- エージェントレス バックアップによる仮想化環境上の Linux 仮想マシンのバックアップデータから、ファイル・フォルダ単位でリストアを行う場合、別途 Arcserve UDP Linux Agent がインストールされたバックアップサーバ (Linux) が必要です。
- Hyper-V VDI 環境上の仮想マシンに対するエージェントレス バックアップはサポート対象外です。
- PRIMEFLEX HS (VMware) で提供している ServerView Infrastructure Manager for PRIMEFLEX のバックアップを、以下の条件でサポートします。
 - ・ 仮想マシンを停止した状態でのエージェントレスバックアップ
- PRIMEFLEX for Nutanix Enterprise Cloud (Nutanix AHV / VMware ESXi) 環境でのエージェントレスバックアップは、以下の製品で対応します。
 - ・ Arcserve UDP 8.0 Premium Edition - Socket
 - ・ Arcserve UDP 8.0 Premium Plus Edition - Socket

仮想スタンバイ機能

- 本機能の対象は、以下の全ての条件に合致する OS に限ります。
 - ・ 当社がゲスト OS としてサポートする OS
 - ・ Arcserve 社がサポートする OS
- PRIMEFLEX for Nutanix Enterprise Cloud (Nutanix AHV / VMware ESXi) 環境での仮想スタンバイ機能は、以下の製品で対応します。
 - ・ Arcserve UDP 8.0 Premium Edition - Socket
 - ・ Arcserve UDP 8.0 Premium Plus Edition - Socket
- 本機能を使用するために、Nutanix クラスタ上にモニタサーバの役割となる仮想マシン (Windows Server 2016 以降) が必要です。

インスタント VM 機能

- 本機能の対象は、以下の全ての条件に合致する OS に限ります。
 - ・ 当社がゲスト OS としてサポートする OS
 - ・ Arcserve 社がサポートする OS
- 本機能を VMware vSphere ESXi 環境で使用する場合は、バックアップ先は NFS 領域である必要があります。
- 復旧する環境の OS が Linux の場合、RedHat Enterprise Linux のみサポートします。また別途 Arcserve UDP Linux Agent が導入されたマシンが必要です。
 - ・ 当社がゲスト OS としてサポートする OS
 - ・ Arcserve 社がサポートする OS
- インスタント VM で起動した仮想マシンに対して仮想マシン内のデータを更新した場合は、その変更量に応じたディスク領域が必要です。
- PRIMEFLEX for Nutanix Enterprise Cloud (Nutanix AHV / VMware ESXi) 環境でのインスタント VM 機能は、以下の製品で対応します。
 - ・ Arcserve UDP 8.0 Premium Edition - Socket
 - ・ Arcserve UDP 8.0 Premium Plus Edition - Socket(注) 本機能は Linux 仮想マシンのみ対応します。
(注) Nutanix AHV 5.15 環境において、UEFI で起動される Linux 環境はサポートしません。
- 本機能を使用するために、Nutanix クラスター上に Arcserve UDP Linux Agent が導入された仮想マシンが必要です。
- FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure / for AWS へのインスタント VM を行う際の前提条件は以下のとおりです。
 - ・ クラウド(IaaS)側に復旧ポイントサーバの機能をインストールした仮想マシン(Windows)、および、エージェントバックアップサーバ(Linux)が必要です。
 - ・ サポートするバックアップ対象は、以下のとおりです。

【凡例】 ○：サポート ×：未サポート

バックアップデータ		インスタント VM 先のクラウド環境	
バックアップ対象	バックアップ方式	FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure	FUJITSU Hybrid IT Service for AWS
Windows 環境	Arcserve UDP Agent	×	×
	エージェントレスバックアップ	○	×
Linux 環境 ^{※1}	Arcserve UDP Agent	○ ^{※2}	○
	エージェントレスバックアップ	○ ^{※2}	○

※1：XFS ファイルフォーマットのボリュームがある Linux 環境は未サポート

※2：UEFI で起動される Linux 環境、および複数のディスクに跨る Btrfs ファイルシステムを持つ Linux 環境は未サポート

アシュアードリカバリ機能

- PRIMEFLEX for Nutanix Enterprise Cloud (Nutanix AHV / VMware ESXi) 環境でのアシュアードリカバリ機能は、以下の製品で対応します。
 - ・ Arcserve UDP 8.0 Premium Edition – Socket
 - ・ Arcserve UDP 8.0 Premium Plus Edition – Socket
 (注) 本機能は Linux 仮想マシンのみ対応します。
- 本機能を使用するために、Nutanix クラスタ上に Arcserve UDP Linux Agent が導入された仮想マシンが必要です。

ETERNUS CS800 S6/S7/M1 デデュープアプライアンスの対応について

バックアップデータの格納先として、ETERNUS CS800 S6/S7/M1 デデュープアプライアンスの利用を、以下の条件でサポートします。

- Arcserve UDP 復旧ポイントサーバ（RPS : Recovery Point Server）のデータストアとして設定する場合、データのデデュプリケーション（重複排除）機能は使用しないでください。